

全員当選めざそう

全国区=阿具根、松本 地方区=小柳、大中

▼わが国の進路を決定するといわれる参議院議員選挙もすぐそこ近づく。ウソで固まった自民党の佐藤政府をぶっつぶすためには、せがひでも参議院の議席の過半数を革新勢力が確保しなければならぬことはいうまでもないが、そのために私たちが組むべきは組合が推薦している四候補(全国区=阿具根、松本、地方区=小柳、大中)の全員当選をめざしてがんばろう。

生命を守り戦争防止に全力



全国区候補 阿具根 登

▽私の公約

私は数々の事実が示している国民の生活と生命を守り、戦争を防止するために全力をあげて闘います。

すなわち、憲法を守り、積極中立を推しすすめ、日本の平和と繁栄をはかります。

安保条約の破棄、沖縄の即時無条件返還と軍事基地の撤去、アメリカのベトナム侵略戦争停止と軍

隊の撤退、日中平和条約とハバマイ、シコタン返還などの実現をはかります。

農業の振興、農作物価格の安定をはかるなど、国内農業を保護育成し、農民の生活を高めます。

大資本には累進課税を行ない、大衆課税を減免します。

中小企業に対しては、長期低利の融資、事業税の減免、負債の一時的な繰上りなど、保護政策をすすめ



全国区候補 松本 英一

松本治一郎の遺志を継ぐ

国民の総意が十分に反映し、国民から信頼される清潔で、民主的な政治を実現するため全力をあげます。

中央にくらべ、とり残されてい

私は一昨年、八十歳の生涯を静かに閉じた松本治一郎の甥であり、松本治一郎の手記である私の幼少時代の思い出が、私は父とともに社会党の結党に参加し、初代参議院議長秘書として公私の生活を通じて、厳しい訓練の中で育てられました。

父は菊の花とともに「不可侵、不可被侵」の七文字をこころよく愛しました。父の生涯はこの七つの文字の中に生きつづけたと信じます。しかし、父をして「最後の血の一滴まで」と呼ばしめた人間は、



福岡地区候補 小柳 勇

反戦平和の闘いの先頭に

「社会から不正や不平等をなくし、みんなが幸せになるうちはあきらめず」「これは昭和三十三年私が参議院に立候補するとき、みなさんに約束した政治家としての理想と決意です。

私は終戦後の激動期から労働運

動に身を投じ、ひきつづき参議院議員として「初心を忘れず」大衆の代弁者として働いてきました。

いま佐藤内閣がすすめている反動政策は公共料金をはじめとする諸物価の値上げをもち、私たちの生活を圧迫しています。

CO闘争の中から 第八回

一人の人間を大切に

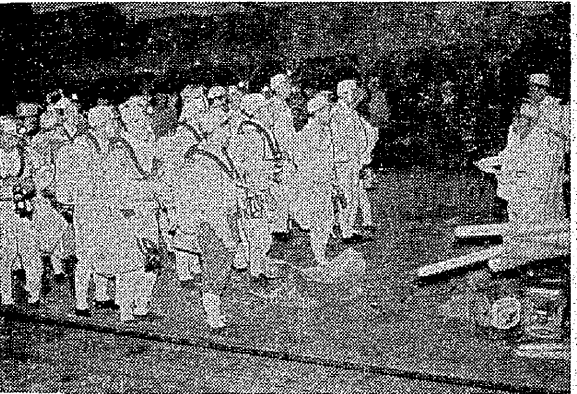
それがCO闘争

CO患者家族の会 池畑小夜子さんの話

池畑小夜子さん(二十八才)は、昭和四十一年にCO患者である主人の重富さん(二十九才)と結婚した。昭和四十一年の十月か、いよいよ長女の重富ちゃん(九才)が、つぎのようになつてい

「わたしは彼と一緒になる前から重富さんとCO闘争の中で結婚し、ともに闘いに出発した小夜子さんに「CO闘争の中から」を題にひかかる。他人の口とはう

結婚しないのか」という。一般的な男性像からみれば、彼は一歩後退し、ものを慎重に考え、じみで、責任感が強い人であったが、彼はよく頭痛を訴えていた。(中略)そんな決意の中にも、ありもしないカゲロウを聞かされた時、心がいらだち、こころにいわれながら一緒にいられなくともよい、といく度度彼と口論したことがある。



坑内をめざす救援隊の勢ぞろい。このとき458人の命が坑底で消え、800人の仲間がガスの中でもがき苦しんでいた。38年の災害の思い出の一つ。

しかし、いまはこう語っている。重富さんとはいつか、ななと書いてある。『治療認定の出された十一月、CO闘争の最中、炭鉱マンで、ま

「CO闘争は、いまから私たちが夫婦と子どもたちが生きつづけていく闘いでもあると思います。重富さんとはいつか、ななと書いてある。『治療認定の出された十一月、CO闘争の最中、炭鉱マンで、ま



熊本地区候補 大中 康雄

平和でよりよい暮らしのため

△私のわがこと

一、子どもらにこころの平和を、

二、子どもらにこころの平和を、

三、子どもらにこころの平和を、

△私の公約

一、平和憲法を守り、日米安保条約破棄、沖縄の無条件全面返還、日中国交回復、ベトナムの平和を

四、医療制度の充実、老後不安住宅、交通地獄、公害の解消など、住みよい社会づくりに努力します。

五、軍国主義的統制をやめさせ、真の平和を希望する人間育成のための教育の実現に努力します。

六、大企業中心の経済政策をやめさせ、中小企業の繁栄のために近代化、民主化に努力します。

七、独占につながる農業、漁業政策を改革し、農民のための政策の確立、その生活の近代化的向上のために努力します。